

柴田勝家・お市の方夫妻の菩提寺

金剛山 幡岳寺 ばんがくじ

マキノ町中庄にある幡岳寺は曹洞宗の寺院で、天正11年(1583)に

賤ヶ岳の合戦で秀吉方に敗れ自害した柴田勝家と、その妻お市の方(織田信長の妹)、そして勝家の家臣で合戦後に刑死した佐久間盛政の菩提寺とされています。盛政の弟・佐久間備前守安政が慶長年間(1596〜1615)、領地の中心地であったこの地に建立したと伝えられ、寺号の幡岳は勝家の戒名「幡岳寺殿籌山勝公大居士」に由来します。寺の



幡岳寺

過去帳には勝家とお市の方や柴田家、佐久間家ら代々の戒名が残されているとともに、勝家や安政らの位牌が現存しています。

佐久間安政と柴田勝家

幡岳寺を建立した佐久間安政は、尾張国(愛知県)出身の佐久間盛次を父、柴田勝家の妹を母に持ち、盛政・勝政・勝之の四人兄弟の次男として弘治元年(1555)に誕生しました。秀吉の時代には、婚戚関係から兄の盛政、弟の勝政と共に柴田勝家の家臣団に参加し、勝政はのちに勝家の養子にもなっています。

秀吉の死後は徳川家康に仕え、慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いの功績によって近江国高島郡に1万5千石の領地が与えられました。そして、大坂夏の陣の翌年である元和2年(1616)に飯山藩(長野県飯山市)に国替えとなり、幡岳寺のある高島郡の地は飛び地領として代官所が置かれました。なお、佐久間の家名は安政の娘の嫁ぎ先であった長沼藩(長野市)の藩士であった岩間家に引き継がれていきました。

幡岳寺の文化財

幡岳寺には、安政の肖像画掛軸が残されているほか、墓地には勝家の孫である柴田帯刀勝次の墓とされる宝篋印塔(笏台石製)があり、観音堂には、平安時代後期作とされる一木造りの「聖観音菩薩立像」(市指定文化財)が安置されています。柴田勝家と佐久間家のゆかりなどの歴史が感じられる由緒ある幡岳寺は、近江中庄駅前にひっそりとたたずんでいます。(現在、建物内部の一般公開はされていません。)



柴田帯刀勝次の墓とされる宝篋印塔

☎ 中江藤樹・たかしまミュージアム (32) 03330

11月15日(土)、16日(日)
関西文化の日は、中江藤樹・
たかしまミュージアムの
入館料が無料になります。

ぜひこの機会にお越しください。

編集 雑感

表紙は世界陸上に出場された落合晃選手です。当日は市役所で初のパブリックビューイングが行われ、モニターに映る走る姿に、集まった方々と心を一つに声援を送りました。この原稿を書いているのは国スポ大会真っ只中。滋賀県で繰り広げられる国スポの熱戦は、各地で感動を生んでいます。世界陸上に国スポと、高島市の方々が大舞台で活躍される姿に大変誇らしくなります。(S)



広報たかしま

令和7年

11

月号
No.310

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課
〒510-0002 滋賀県高島市新旭町北畑のろ番地

☎ 0740(25)8000(代)
https://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp